



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2022年9月30日

大学生が組合員企業で就業体験 問屋町版インターンシップ



組合員企業で様々な就業体験

組合では、8月22日(月)から26日(金)までの5日間、組合員企業6社と連携して「問屋町版インターンシップ」を開催した。
近年、多くの組合員企業で人材確保が続く、その対策が急務となっている。一方で、若者の県外流出も大きな社会問題となっており、組合では学生に地元企業をより知ってもらう場を創出するため同インターンシップを企画した。



事後研修会で学生が振り返り発表

果の振り返りをする「事後研修会」を行うトータル5日間のプログラム。学生は多くの企業を一度に体験でき、企業側は受入負担が軽減され、双方にメリットがある。
今回のインターンシップに参加したのは青森中央学院大学の2、3年生の学生8名。学生は毎日2班に分かれて、九大堀内グループ、(株)マツダアンフィニ青森、青森綜合警備保障(株)、リコーージャパン(株)、(株)サカイ引越センター、(株)金入のインターンシップに参加。物流センターでのピッキング体験や営業マンに同行しての営業体験等、それぞれ自社の特徴を活かして工夫を凝らした就業体験が行われた。組合員各社のプログラムには若手社員と懇談する時間も設けられた。学生にとっては

年齢の近い社員と懇談することで、会社説明会等ではなかなか聞けない会社の実情が知れる貴重な時間となった。参加した学生からは「元々志望している業界があったが、インターンシップを体験

グッドフーズが新規加入

新規組合員のグッドフーズ(有)が第二問屋町内で進めていたセントラルキッチンの移転改修工事が完了し、稼働を開始した。
青森市内で幼稚園給食の配達、大学や高校の食堂運営を手がける同社では、施設が老朽化し手狭となっていたため第二問屋町へ移転。施設は「LUNCH BOX」と名付けられ、HACCPにも対応。これまで以上に食品衛生管理の安全性向上が図られ、大量調理によるコスト低減も期待される。

して様々な業界に興味を沸かす、志望先の幅が広がった」
「座談会では若手社員の方の就活時のことや入社後の失敗談、抱いたギャップなどを聞かせてもらい勉強になった」などの感想が寄せられた。

ラインメール青森を応援しよう
ラインメール青森FCは、メインスポンサーである東和電材(株)の問屋町移転に合わせ、事務局を問屋町に移転した。
同クラブは現在J3昇格を目指しており、昇格には年間成績4位以内のほかホーム戦の平均観客数2千人超が条件となっている。ぜひスタジアムに足を運び、ラインメール青森を応援していただきたい

い。
現在、2022年シーズンのホーム戦に限り、組合員限定で無料招待を実施中。詳しくは組合ホームページのヘッドラインをご覧ください。



改修されたグッドフーズ施設

今後は、隣接する事務所棟の改修も行われ、事務所機能も移転してくる予定となっている。



問屋町地区健康診断

問屋町地区健康診断が問屋町会館2階大会議室で開催された。7月4日(月)、8月3日(水)、9月12日(月)の計3日間開催され、組合員及び近隣企業の従業員ら89名が受診した。

業種や規模を問わず、事業者は労働者に対して健康診断を受けさせることが法律で定められている。また、健康診断で異常の所見があると診断された労働者に関しては、医師等からの意見聴取が義務付けられている。



問屋町会館2階で健康診断

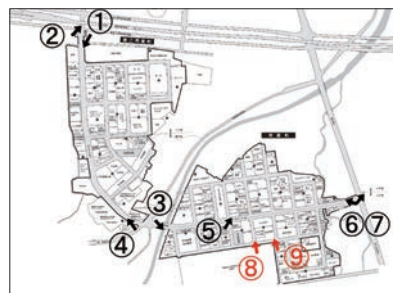
防犯カメラを更新

組合では昨年度に引き続き、団地内に設置され交換時期が到来した防犯カメラを更新した。今回取り替えられたのは、青森市中央卸売市場正面入口及び市場東側側道交差点の2箇所。卸団地に入りする車両等を確認できる。

問屋町の見守り機能向上を図るべく、組合では2016年に問屋町主要箇所に7台の防犯カメラを設置し、翌年には2台追加した。防犯カメラ設置後は団地内で大きな犯罪は起きておらず、防犯カメラ



交換された防犯カメラ



防犯カメラ位置図(赤字は今回交換)

の録画映像が周辺で発生した事件解決につながるなど、安心・安全なまちづくりにより大きく寄与している。

現在、防犯カメラの映像は捜査機関以外には非公開としているが、冬期間の積雪状況確認等に活用できるよう問屋町会館前設置のカメラのみライブ映像を組合員限定でホームページ上で公開している。

組合では安心・安全なまちづくりを目指し、今後も防犯機能強化に努めていく。

ボランティア隊が景観美化

8月21日(日)と9月11日(日)の2日間、問屋町緑のボランティア隊による団地内



街路樹の下枝刈り

美化活動が行われた。

今回の作業は、問屋町地区全域の街路樹下枝刈りや街路樹の除草を実施。まだまだ夏の暑さが残る中、隊員は額に汗しながら作業し、大量の枝や草が刈られた。

問屋町緑のボランティア隊は、団地内企業に加え、問屋町隣接地に拠点を構える㈱ユアテック青森支社の従業員らで組織する。作業は年4回程度、日曜日の午前中に行われ、花苗植栽や街路樹の刈り込み等を実施している。

同隊では10月にも第二問屋町地区の街路樹下枝刈りや除草作業を予定しており、問屋町の美化推進のため活動を続ける。

ボルダリング教室

今年度1回目となる問屋町ボルダリング教室が8月29日(月)に開催された。組合員K・フロスビ(株)が問屋町内で運営するボルダリング施設



ボルダリング教室

(Glide Climbing)にて行われ、事務局含め10名が参加。仕事終わりでも参加しやすいよう夜7時から8時の時間帯で行われた。

参加者は簡単なコースから順番に挑戦し、馴れない体の動かし方に苦戦しながらもボルダリングを楽しんだ。

とんやまちフラワースタッフ

今月は㈱アピイを紹介する。老健施設の運営等を行う同社では、2018年の組合加入以前から花による景観美化に取り組んでいる。現在は各施設に加え本社社屋の外に設置したプランターで花を育てる。



アピイの花壇

今回お話を伺った細川氏は「花のある職場づくりは老健施設の利用者を楽しませたいという気持ちで始めた。社員全体で取り組んでいるためコミュニケーションも図られ、楽しんでやっていると話してくれた。」

おいしいお菓子づくりのお手伝い

お菓子とパンの原料専門店

(株)元木商店

本社 青森市第二問屋町三丁目2番12号 TEL 739-9061
 八戸店 八戸市類家五丁目2の14 TEL 45-2755



株式会社吉田産業 青森支店 支店長 小松 智

〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目19-14 TEL:017-728-2111 FAX:017-738-8110
 事業内容:建設資材、環境資材、土木資材、住宅設備機器の販売および施工、気象情報の販売

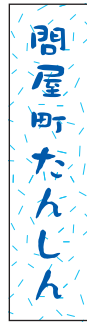
青森県の最低賃金改定

①最低賃金
時間額 853円

(改正前) 822円・31円

引き上げ)

②改正時期
2022年10月5日から



【インフルエンザ集団予防接種】

日時 10月24日(月)

10月26日(水)

10月28日(金)

第64弾となる今回の経済雑感、青森県知的財産支援センターの名久井センター長にご寄稿いただいた。

経済雑感

第二〇〇回

青森県知的財産支援センター
センター長 名久井 紀世子

近年、新製品・新技術の特許をめぐる争いや、商標権侵害、模倣品対策など、知的財産に関する国内外の報道を見聞きすることが多くなつたと感じます。

【知的財産とは】

知的財産とは、人間が頭の中で考え出したものうち、経済的な価値を持つ対象のことをいいます。

この知的財産の創作者

会場 13時～16時30分
問屋町会館
2階大会議室

実施機関 医療法人

成田あつしクリニック



昨年の予防接種の様子

料金 1人2,800円
(税込)

業務報告

…主要事項…

- 8月
- 3日▽第2回問屋町地区健康診断
- 4日▽第5回問屋町合同清掃▽組合員昼食会
- 16日▽金融審査会
- 21日▽第2回問屋町緑のボランティア隊
- 22日▽問屋町版インタースhip(～26日)
- 23日▽知財活用講座(商標編)
- 29日▽問屋町ボルダリング教室
- 30日▽安協問屋町支部第2回街頭指導
- 8月
- 3日▽第2回問屋町地区健康診断
- 4日▽第5回問屋町合同清掃▽組合員昼食会
- 16日▽金融審査会
- 21日▽第2回問屋町緑のボランティア隊
- 22日▽問屋町版インタースhip(～26日)
- 23日▽問屋町ビジネススクール(実践編)①
- 25日▽会計・経理の基礎講座(実践編)②
- 30日▽会計・経理の基礎講座(実践編)③

問屋町
ビジネススクール

…実践編③
を減らすメモの取り方



青森県知的財産支援センター
センター長 名久井 紀世子 氏

今回はこの中の商標権について取り上げます。

【本県の商標の活用状況】
商品やサービスに使用するマークを「商標」と言いますが、特許庁の統計によると、2021年の本県の商標登録の出願件数は309件で、全国第42位でした。ちなみに、岩手

中、商品やサービスをB to Cで販売することが容易になっていきます。これを好機と捉えて、商品の全国展開を検討している企業もあるのではないのでしょうか。【その商品名使って大丈夫?】しかし、その商品が商標権

に、法律で一定の独占権を与えるものを「知的財産権」といいますが、その中でも、特にビジネスに深くかかわるものを「産業財産権」といい、「特許権(発明)」、「実用新案権(考案)」、「意匠権(デザイン)」、「商標権(ブランド)」の4種類があります。

県が43位、秋田県が44位で、北東北3県とも下位を占めています。下請けなどのB to Bの取引が多いことのほか、シヤイで慎ましい県民性から、全国と比べると、自社ブランドを打ち出し、攻めの展開に打って出る気概に乏しいと言えられるのかもしれない。とはいえ、インターネットが普及してEC利用者が増加する中、商品やサービスをB to Cで販売することが容易になっていきます。これを好機と捉えて、商品の全国展開を検討している企業もあるのではないのでしょうか。【その商品名使って大丈夫?】しかし、その商品が商標権

侵害で訴えられると、使用差止やライセンスト料の請求、場合によっては損害賠償請求に繋がることもあり、大きなダメージを受けます。事業で商品名やロゴマークを使用する際は、パツケージを発注するなど販売に向けて走り出す前に、商標の確認をお忘れなく。

青森総合卸センター組合員の皆さまを対象として開設されている「専門家による無料相談コーナー」では、当センターが運営する「INPIT青森県知財総合支援窓口」の担当者が、弁理士や支援機関と連携して、知的財産に関するご相談にワンストップで対応していきます。ぜひご利用ください。(つづく)

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します



青森支店 TEL 017-739-4551
FAX 017-739-4145
弘前・八戸・大館・仙台・秋田

人と人をつなげ、地域の活性化と発展に貢献する

RAB
アール・エー・ビー開発株式会社
青森市第二問屋町三丁目2番35号
TEL.017(739)1666
www.rabkaihatu.co.jp

〒030-0113 青森市第二問屋町四丁目11-18
TEL: 762-1411 FAX: 739-7771 https://www.soft-academy.co.jp/

株ソフトアカデミーあおもり

●システム企画・開発・運用 ●IT教育 ●給排水CAD・申請 ●施設賃貸事業

私達はDX人材育成と企業のDX推進をサポートします

雑貨のあるガーデニングショップ

Leaf

リーフ (by だいいちぞうえん)

エクステリア設計 (CAD) ・施工 ・管理
青森市大字荒川字柴田60-11 TEL 017-718-7830

知的財産について学ぶ

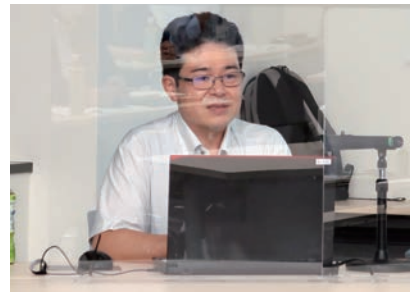
組合では、初の試みとして知財活用講座を開催した。事業活動をするうえで、会社のロゴマークや新商品のネーミング、デザイン、ホームページに掲載する記事や写真の著作権など、知的財産(知財)に関わるものは多岐に渡る。知財に関して中小企業の関心はそれほど高くなく、知識やノウハウ不足に起因するトラブルが増えている。組合では、組合員の知財に関する知識向上と知財活用による事業展開の推進を図るため、(二社)青森県発明協会との協力を得て知財活用講座の



オンライン配信を併用した知財活用講座

開催を企画した。同講座はテーマ別に3回シリーズで開催。第1弾は8月23日(火)に「商標」をテーマに問屋町会館1階会議室で開催され、組合員ら7名が参

加したほか、Zoomによるオンライン配信も4名が視聴した。講師を務めたのは弁理士の角田氏。商標の基本ルールやトラブルを避けるために押さえておくべきポイントなどを解説した。角田氏は「商標とは自分の商品やサービスを他人のもの」と区別するための名前やマークで、文字・図形・立体・色・音など様々なタイプがある。他人の登録商標の存在を知らずに使っている場合、商標権侵害にあたる。同一、類似の登録商標がないか特許情報プラットフォームにアクセスして事前に調べてほしい」と語った。



講師を務めた角田弁理士

知的財産講座は9月に「著作権」、10月には「意匠権」をテーマに開催。また、組合では、無料相談コーナーにて知的財産に関する相談も受け付けている。

団地企業訪問

今回の団地企業訪問は、コクサイ通信特機(株)の中村社長にお話を伺った。

同社は、通信設備の建設や保守工事を施工し生活に欠かせない情報通信インフラの構築を行う企業として昭和46年に設立。ドローンによる点検など先進技術を積極的に取り入れながら、変化を止めない事を社是として日々努力しながらお客様に期待に応えている。

「当社は、東北電力グループのトクネットという光回線を引くサービスを提供しています。ベストエフォート型の光回線では、朝・昼・夜に加え数年前からは夕方にも通

信量が増えて回線スピードが落ちる現象が発生しています。トクネットは法人販売のみなので、一般ユーザーに影響されず常時安定した回線速度を提供できるのが特徴です。個人事業主も対象なのでおすすめです」と話す。



コクサイ通信特機(株)代表取締役社長 中村 真 氏

業界の現状を伺うと「上級資格を持っている経験のある社員が定年を迎え退職していく中で、技術継承して施工力を確保することが課題になっています。社員にも資格取得するならば支援はするので、どんどん取ってほしいと話しています」と語る。

新たな取り組みとして、令和2年4月にドローン事業全般を手掛ける、コクサイ無人航空機(株)を設立し、昨年10月には日本で31人目のPROパイロットとなつた同氏にドローンについて伺った。「ドローンに手をかけ始めたのが6年前になります。当時、通信工事の仕事を柱の上や鉄塔の上で写真を撮る作業があり、それをドローンですべてやらせたいという思いで、昨年10月にドローン事業を立ち上げました。ドローンは安全で正しく社会に実装されるようドローンスクール等を通じて当社も尽力していきたいと思っています」と熱く語る。

計測関係が当社で行っているメインの仕事です。ドローンは今年12月に国家資格になります。ドローンが安全で正しく社会に実装されるようドローンスクール等を通じて当社も尽力していきたいと思っています」と熱く語る。プライベートに話が及ぶと「最近はやットが面白くはまっています。1級船舶の免許を6月に取つたので世界一周もできます。ヨットの魅力は、海に出てエンジンを切つて帆を立てて進むと、風と波の音しかしないんですよ。あれが最高に気持ちいいです。日頃いろんなことを考えていても海に出ると忘れられるのでリフレッシュしに行つてみたいです」と笑った。(42歳)

編集後記

今年の青森は、連日、真夏日が続く暑い夏でした。これも地球温暖化の影響かと思いつつ「今日も暑いですね」と挨拶していたと思ったら、すっかり朝晩涼しくなってきました。青森の季節の移り変わりは早い。そうなるとうりになるのは八甲田山の紅葉です。黄色と赤色が一面に広がる絶景を今年も目に焼き付けたいです。さて、問屋町版インタースhipをようやく実施することができました。当組合のインタースhipの取り組みは、2019年度に青森県の助成事業を活用して実施した「仕事理解型インタースhip導入事業」から始まりました。企業の求人難解消や若者の地元定着等を狙って組合員企業へのインタースhipの導入を推進するのが目的です。この事業の一環として石川県金沢市のジヨブカフェ石川を視察したのですが、石川県におけるインタースhipへの取り組みや学生と企業とのマッチングは、2倍前後という高い求人倍率も影響してかなり先進的な内容でした。5日間のインタースhipをジヨブカフェと企業3社が連携して実施する連携プログラムを紹介され、これに感銘を受けて企画したのが問屋町版インタースhipです。その後2年間はコロナ禍で思うような事業展開ができなかっただけに、今回ようやく実施することができてほっと一安心しています。問屋町版インタースhipを体験してくれた学生からの評価も高く、来年度もより充実したプログラムになるよう組合員企業と連携して取り組みたいと思います。(小田切)

大空から日本の未来を守る。
 ・インフラ空撮点検・ドローン操縦講習・機体導入支援
 ・農業請負散布・空撮・機体販売 など、ドローンの事なら全てお任せください。

総務省消防庁防災協定締結企業
 情報通信工事・設計施工・無人航空機空撮・無人航空機点検資格

コクサイ通信特機株式会社
 〒030-0131 青森県青森市問屋町1丁目9-9
 TEL (017) 738-0817 FAX (017) 738-0839

地域の一員であるみちのく銀行は、**事業承継・M&A**を支援いたします。

新たな専門分野に取り組み蓄積された **ノウハウ** × 地域に根を張り長年継続して得た **情報網** × お客さまと共に

プロクレアホールディングス
みちのく銀行 問屋町支店 Tel.017-739-1100